

令和4年度 学校体育担当教員
実技指導者研修会報告書

県西地区（剣道）

1. 期 日	令和4年11月15日(火)		
2. 会 場	茨城県立水海道第一高等学校		
3. 日 程	受 付	9:00 ~ 9:30	
	開 講 式	9:30 ~ 9:45	
	講 義	10:00 ~ 10:45	
	実技指導①	11:00 ~ 11:50	
	昼 休 憩	12:00 ~ 12:50	
	実技指導②	13:00 ~ 13:50	
	研 究 協 議	14:10 ~ 15:00	
	閉 講 式	15:00 ~ 15:15	

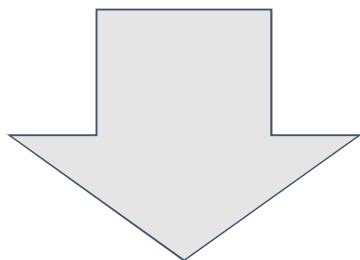
4. 講 師 柴田 一浩（しばた かずひろ）先生
流通経済大学スポーツ健康科学部大学院
スポーツ科学研究科教授

5. 参 加 者 高等学校教員 21名
中等学校教員 1名
中学校教員 3名
特別支援学校教員 3名

計 28名（他 本校教員5名）

6. 実施内容 <講義>

「剣道を教えるのではなく、
剣道で何を身につけさせるか」が重要



剣道の学習を楽しいと実感する生徒の割合
を高めるために取り組んだ、授業実践例を紹介



6. 実施内容 <講義>

～授業実践例の紹介～

(1) 基本動作を最初から学習させるのではなく、

導入の段階で類似の運動をゲーム感覚で取り組ませる

(2) 対人での学習、段階的な指導による基本動作・基本
となる技の習得

(3) 教材・教具を工夫して、できる喜びや
攻防の楽しさを味わわせる学習活動



6. 実施内容 <実技指導>

↳ 講義で紹介された授業実践例の実演

(1) 体ほぐしの運動の趣旨を踏まえた導入の工夫

→ 基本動作を最初から学習させるのではなく、
導入の段階で類似の運動をゲーム感覚で取り組ませる



▲ パートナーを探せ
(目隠し・発声)



▲ バランス崩し
(相手を崩す、かけひき)

6. 実施内容 <実技指導>

(2) 対人での学習、段階的な指導による基本動作・基本となる技(打ち方・受け方)の習得



▲ 対人で面打ち
(右手→左手→両手)



▲ 新聞紙切り
(小さく→大きく、近く→遠く、
ゆっくり→速く)



▲ 自作教具
⇒ 恐怖心を取り除く

段階的な指導



6. 実施内容 <実技指導>

(3) 教材・教具を工夫して、できる喜びや攻防の楽しさを
味わわせる学習活動

- ① 面の代用としてヘルメットとゴーグルを活用・・・簡易竹刀を併用
- ② 「できばえ判定試合」・・・勝敗は3つの基準で総合的に判断
- ③ 「攻防交代型試合」・・・面と胴の2つの部位に限定し、攻防を交代して行う



▲ 攻防交代型の試合（攻撃は3回まで。成功した回数で勝敗を競う）

6. 実施内容 <研究協議>

今日の振り返り、情報交換およびアイデア共有

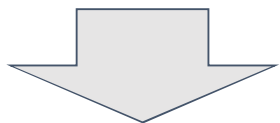
【感想・意見など】

- 自作の道具などの工夫で楽しく取り組めることが分かった。
- 礼法などの基本から入るよりも、「楽しい」と思わせる工夫と導入が参考になった。
- 攻防中の「かけ引き」が楽しく、それを教える方法が分かった。
- 道具の確保、保管が大変であるのが現状。



7. 講習会に参加して

剣道＝堅いイメージ



講習会＝とても楽しかった

→導入の工夫や段階的な指導がとても重要である

剣道の授業に限ったことではない

「～を教えるのではなく、～で何を身につけさせるか」
ということを大切にしていきたい

ご清聴ありがとうございました。

